

N8103 - 42

SCSI コントローラ(Ultra-Wide-Single-Ended) 組み立て 取り扱いの手引き



安全上のご注意 ~はじめにお読みください~

この説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。表示を無視した取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

注意	けがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。
-----------	---------------------------------

お守りいただく内容の種類を絵表示で区別し、説明しています。





	気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注意

本書に示す手順を除いて絶対に分解・改造をしないでください。N8103-42 SCSI コントローラ（以下「本ボード」と呼ぶ）には電圧を高く設定できる部品などがあります。これらを分解・改造したり、設定を変更したまま使用すると火災や感電の原因となります。	 禁止
本ボードの取り付けの際は、取り付ける装置（以下「基本装置」と呼ぶ）に添付のユーザーガイドに記載されている注意事項をお読みになり、その内容をご理解の上、作業を行ってください。注意事項を無視して作業を進めると、本ボードや取り付けた基本装置が故障するばかりでなく、人体や家財に被害を及ぼすおそれがあります。	 強制
めれた手で本ボードの取り付け・取り外しを行わないでください。ボードが故障するばかりでなく、感電するおそれがあります。	 禁止
基本装置の電源を OFF にした直後は本ボードを含む部品が高温になっていることがあります。部品が十分に冷めたことを確認してから取り付け・取り外しを行ってください。	 強制

< 次ページに続く >

注意

ラックマウント装置への本製品の取り付け、取り外しにあたりましては、ラックからの装置引き出しに危険がありますので、必ずご契約の保守サービス会社にご依頼ください。	 禁止
本ボードを基本装置に取り付けた後、万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに POWER スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。	 禁止
本ボードを接続される時は、基本装置の PCI バススロットに確実に差し込んでください。完全に差し込まなかった場合、感電や火災のおそれがあります。	 強制
本ボードをオプションサポートしている Express5800 シリーズ以外では使用できません。NEC が指定していない基本装置、SCSI 機器、インターフェースケーブル等を使用したために起きた故障については、その責任を負いかねますのでご了承ください。	 禁止

使用上のご注意

本ボードを正しく取り扱うために、次に示す注意事項をお守りください。

本ボードは Express5800/50、100、600 シリーズに SCSI 機器を接続するために開発された SCSI コントローラです。他の目的での使用はできません。

指定以外のケーブルまたは SCSI 機器に接続しないでください。本ボードが故障するだけでなく、基本装置が故障するおそれがあります。

本ボードは大変デリケートな電子部品です。基本装置の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてからボードを取り扱ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品やコネクタと接続する部分には触れないようにしてください。

本ボードを落としたり、ものにぶつけないでください。誤動作の原因となります。

本ボードの上に物を置かないでください。誤動作の原因となります。

本書、および「N8103-42 SCSI ドライバセットアップカード」に記載されている説明をよく読んで正しく取り扱いしてください。

出荷時の設定で本ボードの SCSI ID は「ID=7」に設定されています。同一 SCSI バスに接続されている SCSI 機器の SCSI ID が重複しないように設定してください。万一、重複している場合は、それぞれの SCSI 機器に添付のマニュアルを参照して、SCSI ID を設定し直してください。

本ボードを取り付けた後、本ボードの SCSI ドライバを基本装置にインストールしてください。詳しくは、「N8103-42 SCSI ドライバセットアップカード」を参照してください。

SCSI ケーブルの総ケーブル長は最大 6m です（なお、総ケーブル長は本ボードのパターン長 0.1m および接続する SCSI 機器内部線長を含みます）。

また、Ultra SCSI に設定した SCSI 機器を 4 台以上接続する場合は総ケーブル長を 1.5m 以内にしてください。本ボードに接続している SCSI 機器からのシステムの起動（ブート）はできません。起動用のシステムは別の装置に作成してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第一種情報装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

目次

まえがき	4
構成品	4
各部の名称と機能	5
ボードの取り付け	6
SCSI 機器との接続	8
外付け型 SCSI 機器の場合	8
内蔵型 SCSI 機器の場合	9
接続例	1 1
ボードのセットアップ	1 3
困ったときの処理	1 4
ボードの交換	1 5
修理について	1 6
第三者への譲渡について	1 6
廃棄について	1 6
保証書について	1 6

まえがき

N8103-42 SCSI コントローラ (Ultra-Wide-Single-Ended) は Express5800/50、100、600 シリーズ用に設計された SCSI コントローラボードです。

このボードは、Ultra-Wide-Single-Ended-SCSI インターフェースを持つ SCSI 機器を制御する PCIバス用のボードです。

NECが指定する SCSI機器以外には接続しないでください。指定外の機器や規格外のインターフェースを持つ機器はたとえ接続することができても、本ボードおよび接続した機器が正常に動作しないばかりか、故障するおそれがあります。

接続できる機器については、各機器に添付のマニュアルをご覧になるか、本ボードを購入された販売店または契約されている保守サービス会社にお問い合わせください。

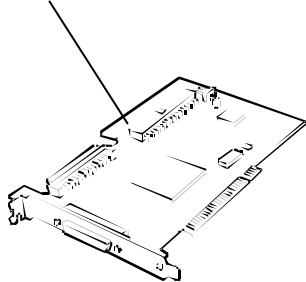
構成

梱包箱には次のものが入っています。確認してください。

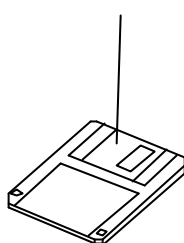
万一、足りないものや破損しているものがありましたら、購入された販売店にご連絡ください。

項番	品名	指定番号	数量	備考
	N8103-42 AHA-2940UW SCSI コントローラボード	-	1	PCIバス用ボード
	Adaptec SCSI Windows NT Driver Disk	136-175610-111	1	
	Adaptec SCSI NetWare Driver Disk	136-175610-311	1	
	N8103-42 SCSI ドライバセットアップカード	856-840000-111	1	SCSI ドライバのインストールや使用方法を記載した説明書
	N8103-42 SCSI コントローラ (Ultra-Wide-Single-Ended) 組み立て・取り扱いの手引き	855-900093	1	本書
	N8103-42 SCSI コントローラ使用上の注意事項について	855-900094	1	
	保証書	-	1	

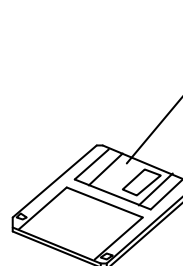
N8103-42 AHA-2940UW
SCSI コントローラボード



Adaptec SCSI Windows NT
Driver Disk



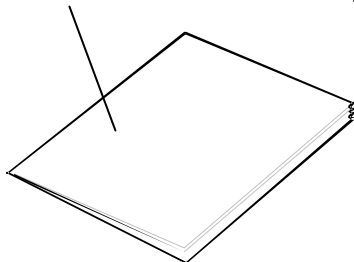
Adaptec SCSI NetWare
Driver Disk



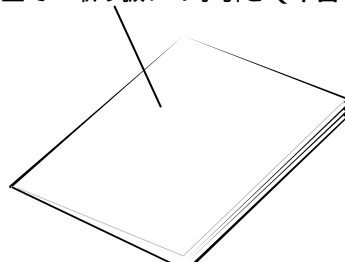
保証書



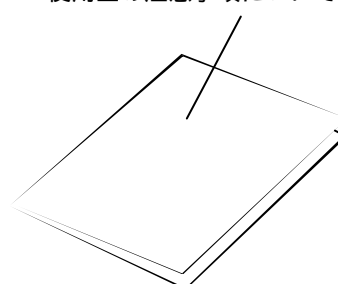
N8103-42 SCSI ドライバ
セットアップカード



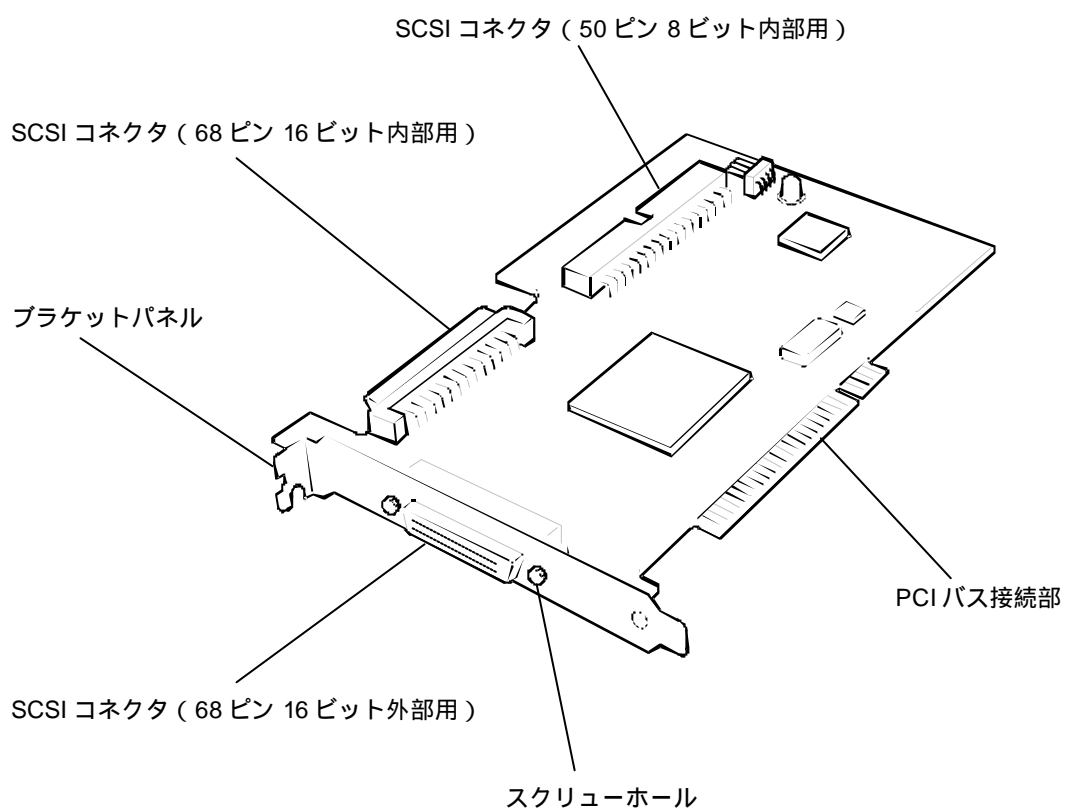
N8103-42 SCSI コントローラ
組み立て・取り扱いの手引き (本書)



N8103-42 SCSI コントローラ
使用上の注意事項について



各部の名称と機能



ブラケットパネル

基本装置の増設スロットへ固定するためのブラケット。

PCIバス接続部

基本装置内部の PCIバススロットと接続する端子。

SCSI コネクタ (68 ピン 16 ビット外部用)

本ボードと SCSI 機器を接続するコネクタ。

SCSI コネクタ (50 ピン 8 ビット内部用)

本ボードと SCSI 機器を接続するコネクタ。

スクリューホール

SCSI ケーブルのコネクタを固定するためのネジ穴。

SCSI コネクタ (68 ピン 16 ビット内部用)

本ボードと SCSI 機器を接続するコネクタ。

ボードの取り付け

次の手順に従って本ボードを基本装置へ取り付けます。

- 1 基本装置の電源が OFF (POWER ランプ消灯) になっていることを確認します。
基本装置の電源が ON (POWER ランプ点灯) になっている場合は、各 OS の電源 OFF の処理を行った後、基本装置の電源を OFF にしてください。
- 2 基本装置の電源コードのプラグ部分を持ってコンセントから引き抜きます。



注意

取り付けの前に電源プラグをコンセントから引き抜いてください。電源プラグをコンセントに差し込んだまま、装置内部の部品を触ると感電するおそれがあります。

電源コードはプラグ部分を持って引き抜いてください。コード部分を持って引き抜くと、コードの被覆が破損し、漏電や感電のおそれがあります。

- 3 基本装置に添付のユーザズガイドに従って PCI バススロットへ取り付けられるように基本装置のカバーや部品を取り外します。

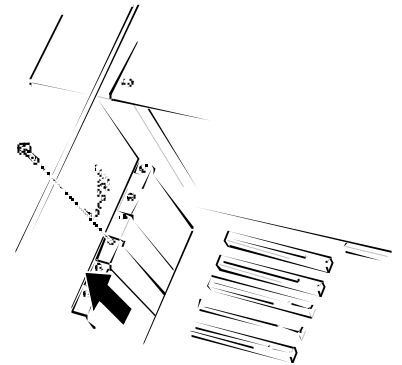


注意

基本装置の電源を OFF にした直後は本ボードを含む内蔵の部品が高温になっています。内蔵の部品が十分に冷めたことを確認してから取り付け・取り外しを行ってください。

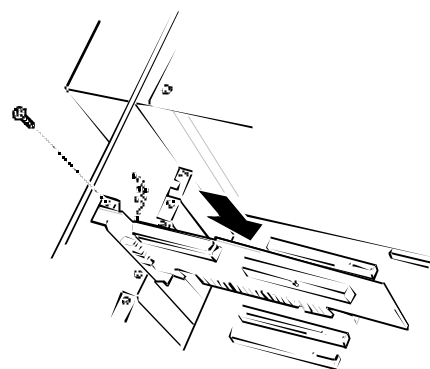
- 4 本ボードを取り付ける PCI バススロットの位置を確認します。
- 5 本ボードを取り付ける PCI バススロットと対応する拡張スロットカバー (ブラケットカバー) を固定しているネジを外して、拡張スロットカバーを取り外します。

このとき取り外したネジは、本ボードを基本装置に固定するときに使用します。なくさないように保管してください。



- 6** 本ボードを PCI バススロットにまっすぐ押し込みます。

このとき本ボードの PCI バス接続部が本体の PCI バススロットに接続
されます。しっかりと押し込んでください。



- 7** 5 で取り外したネジで本ボードを固定します。
- 8** 3 で取り外した基本装置の部品やカバーを取り付けます。
- 9** 基本装置の電源コードをコンセントに接続します。

SCSI 機器との接続

次の手順に従って SCSI 機器と接続します。

外付け型 SCSI 機器の場合

外付け型 SCSI 機器と接続する場合は以下の手順に従ってください。

NEC が指定する SCSI 機器以外には接続しないでください。指定外の機器や規格外のインターフェースを持つ機器はたとえ接続することができても、本ボードおよび接続した機器が正常に動作しないばかりか、故障するおそれがあります。

ボードを購入された販売店または契約されている保守サービス会社にお問い合わせください。

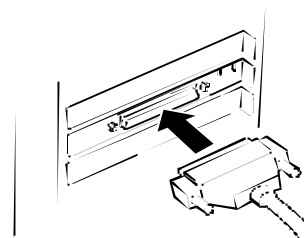
SCSI ケーブルの総ケーブル長は最大 6m です。(なお、総ケーブル長は本ボードのパターン長 0.1m および接続する SCSI 機器内部線長を含みます)

- 1 基本装置および接続する外付け SCSI 機器の電源が OFF (POWER ランプ消灯) になっていることを確認します。

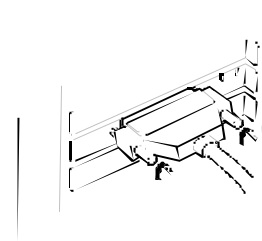
基本装置の電源が ON (POWER ランプ点灯) になっている場合は、各 OS の電源 OFF の処理を行った後、基本装置の電源を OFF にしてください。

- 2 接続する SCSI ケーブルのコネクタ部のピンが折れたり、曲がっていたりしていないこと、また穴が目詰まりしていないことを確認します。

- 3 SCSI ケーブルの一方のコネクタの向きを本ボードの SCSI コネクタ (外部用) の向きに合わせて接続します。



- 4 SCSI ケーブルのコネクタ両方にあるスクリューでコネクタを固定します。



- 5 SCSI ケーブルのもう一方のコネクタを外付け SCSI 機器のコネクタに接続し、固定します。

本ボードからの接続で、最遠端に位置する SCSI 機器には、SCSI 機器に添付のターミネータ (終端抵抗) を取り付けてください。ターミネータを取り付けずに使用すると、本ボード、および基本装置、接続している SCSI 機器が誤動作するおそれがあります。

内蔵型 SCSI 機器の場合

内蔵型 SCSI 機器と接続する場合は以下の手順に従ってください。

NEC が指定する SCSI 機器以外を基本装置に取り付けたり、本 SCSI ボードに接続したりしないでください。指定外の機器や規格外のインターフェースを持つ機器はたとえ接続することができても、本ボードおよび基本装置、接続した機器が正常に動作しないばかりか、故障するおそれがあります。

ボードを購入された販売店または契約されている保守サービス会社にお問い合わせください。

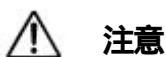
本ボードからの接続で、最遠端に位置する SCSI 機器にはターミネータ（終端抵抗）の設定をしてください。ターミネータの設定をせずに使用すると、本ボード、および基本装置、接続している SCSI 機器が誤動作するおそれがあります。ターミネータの設定方法については、SCSI 機器に添付のマニュアルを参照してください（SCSI 機器によってはターミネータの設定をできないものがあります。この場合は、SCSI ケーブルに添付のターミネータを使って設定してください）。

NEC が指定する内蔵用 SCSI ケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用すると誤動作の原因となります。使用できるケーブルについては基本装置に添付のユーザズガイドまたは SCSI 機器に添付のマニュアルを参照するか、ボードを購入された販売店または契約されている保守サービス会社にお問い合わせください。

SCSI ケーブルの総ケーブル長は最大 6m です（なお、総ケーブル長は本ボードのパターン長 0.1m および接続する SCSI 機器内部線長を含みます）。

- 1 基本装置の電源が OFF（POWER ランプ消灯）になっていることを確認した後、基本装置の電源コードの電源プラグ部分を持ってコンセントから引き抜きます。

基本装置の電源が ON（POWER ランプ点灯）になっている場合は、各 OS の電源 OFF の処理を行った後、基本装置の電源を OFF にしてください。



必ず電源プラグをコンセントから引き抜いてください。電源プラグをコンセントに差し込んだまま、装置内部の部品を触ると感電するおそれがあります。

電源コードはプラグ部分を持って引き抜いてください。コード部分を持って引き抜くと、コードの被覆が破損し、漏電や感電のおそれがあります。

- 2 基本装置に添付のユーザズガイドに従って基本装置のカバーや部品を取り外します。
- 3 接続する SCSI ケーブルのコネクタ部のピンが折れたり、曲がっていたりしていないこと、また穴が目詰まりしていないことを確認します。
- 4 接続する SCSI ケーブルのコネクタのピン数（68 ピンか 50 ピン）に合ったコネクタを本ボード上にある SCSI コネクタ（内部用）から選びます。

- 5 SCSIケーブルの一方のコネクタの向きを本ボードの SCSI コネクタ（内部用）の向きに合わせて、確実に接続します。
- 6 SCSIケーブルのもう一方のコネクタを内蔵型 SCSI 機器のコネクタに確実に接続します。
- 7 内蔵型 SCSI 機器の電源ケーブルを接続します（詳しくは基本装置のユーザズガイドを参照してください）。
- 8 2 で取り外した基本装置の部品やカバーを取り付けます。
- 9 基本装置の電源コードをコンセントに接続します。

接続例

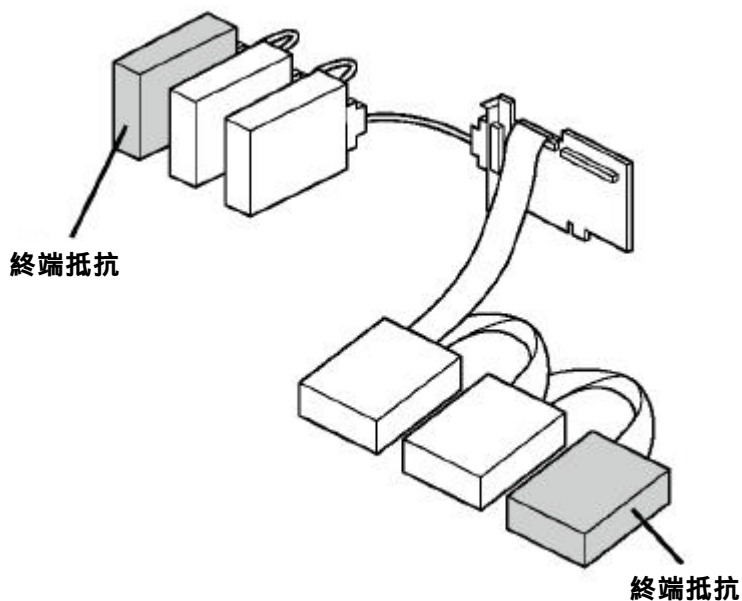
SCSI 機器の接続例を示します。図を参考にして SCSI 機器の終端抵抗を正しく設定してください。SCSI コネクタは 3 つありますが、そのうち 2 つまで同時に接続することができます。

接続台数について

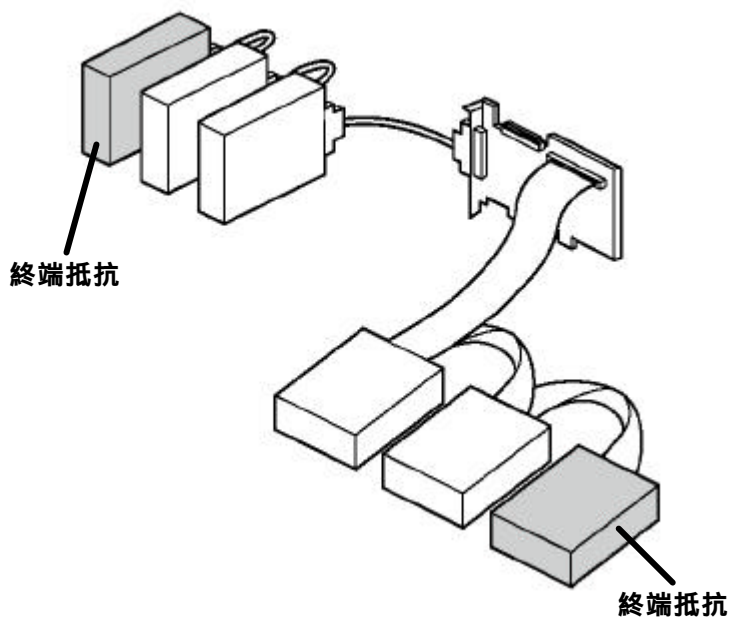
SCSI コントローラには最大 6 台までの SCSI 機器を接続することができます。ただし、Windows NT 3.51 で動作している次の装置では、SCSI コントローラに接続できる SCSI 機器は最大 5 台までです。

Express5800/110, 110Pro, 120Pro, 130Pro, 140, 140Pro, 150, 160, 160Pro, 180Pro

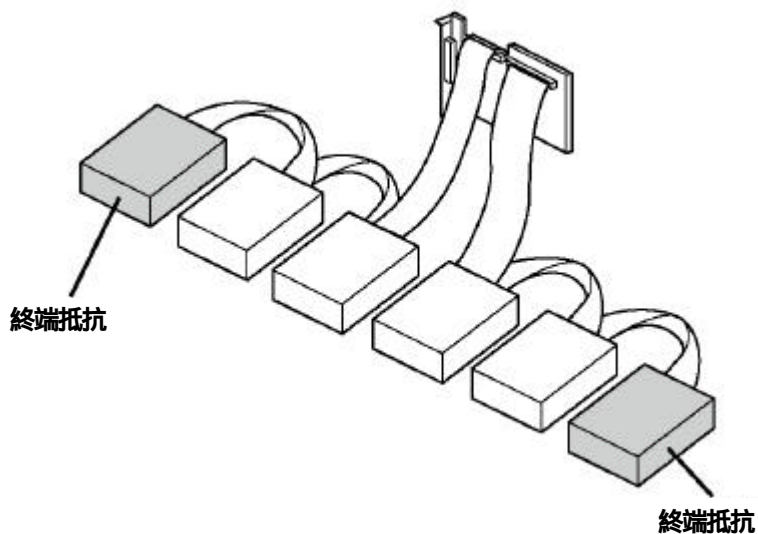
- SCSI コネクタ (68 ピン 16 ビット外部用) と SCSI コネクタ (68 ピン 16 ビット内部用) を使った例



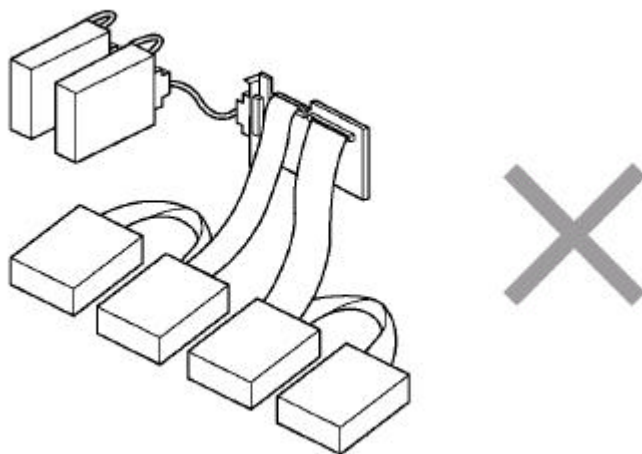
- SCSI コネクタ (64 ピン 16 ビット外部用) と SCSI コネクタ (50 ピン 8 ビット内部用) を使った例



- SCSI コネクタ (68 ピン 16 ビット内部用) と SCSI コネクタ (50 ピン 8 ビット内部用) を使った例



本ボードには3つのコネクタがありますが、3ヶ所のコネクタに同時に接続してのご使用は絶対にしないでください。お使いの SCSI インターフェイス機器が破壊されるおそれがあります。たとえ、6台以下でも3ヶ所同時には接続しないでください。



ボードのセットアップ

SCSI 機器の接続が完了した後、本ボードのユーティリティ「SCSI Select」を使ってセットアップをしてください。また、必要に応じて基本装置に添付のコンフィグレーションユーティリティなどを使って基本装置自身のセットアップを行ってください。SCSI Select ユーティリティの設定は以下の手順で行ってください。

オプションの SCSI コントローラを取り付けている場合、マザーボード上の SCSI コントローラに対するコンフィグレーションユーティリティを起動するかどうかを確認するメッセージ、およびオプションの SCSI コントローラに対する本ユーティリティを起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます（増設した SCSI コントローラの枚数分表示されます）。
また、表示の順番は、基本装置によって異なります（基本装置に添付のユーザズガイドを参照してください）。

- 1 基本装置の電源を ON にします。

POST 実行中の画面の途中で次のメッセージを表示します。

増設した SCSI コントローラの枚数分表示されます。

Adaptec AHA-2940 Ultra/Ultra W SCSI BIOS v1.34.3
(c)1998 Adaptec, Inc. All Rights Reserved.

◀◀ Press <Ctrl><A> for SCSISelect(TM) Utility ! ▶▶

- 2 <Ctrl>キーを押しながら <A>キーを押します。

SCSI Select ユーティリティが起動し、以下のメニュー画面が表示されます。

Configuration/View Host Adapter Settings
SCSI Disk Utilities

- 3 「Configuration/View Host Adapter Settings」は、SCSI バスに対するさまざまな設定を行えます。
「SCSI Disk Utilities」はコントローラ配下に接続された SCSI の一覧を表示します。また、ハードディスクの物理フォーマットも行えます。

詳しくは、基本装置に添付のユーザズガイドまたは接続した SCSI 機器に添付のマニュアルを参照してください。

その後、SCSI ドライバをインストールします。詳しくは、本ボード添付の「N8103-42 SCSI ドライバセットアップカード」を参照してください。

本ボードを取り付けた基本装置に添付のドライバディスクにある SCSI ドライバをインストールしていないと正しく動作しません。

困ったときの処理

本ボードの取り付け後、OS やアプリケーションが正常に動作しなかったときは、次の点について確認および対処してください。

また、基本装置に添付のユーザズガイドおよび「N8103-42 SCSI ドライバセットアップカード」も併せて参照してください。

本ボードから最遠端の SCSI 機器にターミネータ（終端抵抗）を取り付けていますか？

SCSI 機器に添付のターミネータ（終端抵抗）を取り付けてください。

接続している SCSI 機器の SCSI ID が重複していませんか？

SCSI 機器の SCSI ID が重複しないよう割り当ててください（本ボードの SCSI ID は「ID=7」です）。

本ボードのセットアップを行いましたか？

本ボードのユーティリティ「SCSI Select」を使ってセットアップをしてください。詳しくは基本装置に添付のユーザズガイドまたは接続した SCSI 機器に添付のマニュアルを参照してください。

SCSI ドライバをお使いになっている基本装置にインストールしていますか？また、正しくセットアップしましたか？

「N8103-42 SCSI ドライバセットアップカード」を参照してください。

本ボードやケーブルはしっかり接続されていますか？

もう一度しっかりと接続し直してください。

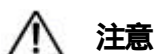
以上の確認を行っても基本装置が正しく動作しない場合は、いったん本ボードを取り外して基本装置を起動して、基本装置の初期診断で異常がないことを確認してください。初期診断が正常に終了するようでしたら、本ボードが故障していることが考えられます。契約されている保守サービス会社または、購入された販売店にご連絡ください。

ボードの交換

本ボードが故障したときは、次の手順で交換します。

SCSIコントローラを交換する前に契約されている保守サービス会社または、お買い求めの販売店にご連絡ください。

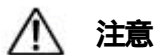
- 1 故障した本ボードを取り付けている基本装置および接続している周辺機器の電源が OFF (POWER ランプ 消灯) になっていることを確認します。基本装置の電源が ON (POWER ランプ点灯) になっている場合は、各 OS の電源 OFF の処理を行った後、基本装置の電源を OFF にしてください。
- 2 基本装置の電源コードの電源プラグ部分を持ってコンセントから引き抜きます。



取り外しの前に電源プラグをコンセントから引き抜いてください。電源プラグをコンセントに差し込んだまま、装置内部の部品を触ると感電するおそれがあります。

電源コードはプラグ部分を持って引き抜いてください。コード部分を持って引き抜くと、コードの被覆が破損し、漏電や感電のおそれがあります。

- 3 ボードに接続しているケーブルを取り外します。「ケーブルの接続」を参照にして逆の手順を行ってください。
- 4 ボードを基本装置から取り外します。「ボードの取り付け」を参照して逆の手順を行ってください。



基本装置の電源を OFF にした直後は本ボードを含む内蔵の部品が高温になっています。内蔵の部品が十分に冷めたことを確認してから取り付け・取り外しを行ってください。

- 5 新しい SCSI コントローラを取り付けます。「ボードの取り付け」を参照してください。
- 6 ボードにケーブルを接続します。「ケーブルの接続」を参照してください。
- 7 必要に応じて基本装置のセットアップを行います。詳しくは、基本装置に添付のユーザズガイドを参照してください。
- 8 基本装置の電源を ON にします。

修理について

SCSI コントローラの故障などで修理を受ける際は、契約されている保守サービス会社または、購入された販売店にご連絡ください。

また、SCSI コントローラの補修用修理部品の保有期間は、製造打ち切り後 5 年です。

第三者への譲渡について

SCSI コントローラを譲渡する際は、必ず本書を含むすべての添付品を併せて譲渡してください。

廃棄について

SCSI コントローラを廃棄する場合は、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

保証書について

本ボードには保証書がついています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

保障期間と保証規定については、本ボードに添付されている保証書を参照してください。

修理を依頼する場合は、契約されている保守サービス会社または、購入された販売店にご連絡ください。

商標について

Windows NTは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adaptec は米国 Adaptec, Inc.の登録商標です。

SCSI Selectは米国 Adaptec, Inc.の商標です。

NetWare は米国 Novell, Inc.の登録商標です。

本書の内容は、予告なく変更する事があります。



N8103-42 SCSI コントローラ
(Ultra-Wide-Single-Ended)
組み立て・取り扱いの手引き

855-900093-A 第1版

このマニュアルは再生紙を使用しています。